

校長室だより (No.8)

令和 5 年 9 月 29 日
丹波市立黒井小学校長
谷口 千尋

黒井小学校 創立 150 年

酷暑もようやく納まり、秋の気配を感じる 9 月 26 日（火曜日）に創立 150 周年を祝う行事として「ふるさと音楽ひろば」を開催しました。当日は、吉住直子様（ソプラノ）木村洋子様（メゾソプラノ）森下美和様（ピアノ）の 3 名にご来校いただきました。また、多くの地域の方、保護者の皆様にも来校いただき、音楽を通しての交流を楽しみました。

さて、この 10 月 2 日に 150 年を迎えるにあたり子どもたちに「校旗」について学校朝会で話をしたいと考えています。



令和 5 年（2023 年）の 150 年前、つまり明治（多くの学校が、この年に創設されています。）最初の黒井小学校は、「日新舎」と呼ばれ、現在の称名寺（黒井小学校の隣にある寺院）におかれまして。「日新」つまり「日新たに」という志が感じられる名称です。日新地蔵がお寺の入口にあります。そのころから毎日子どもたちを見守ってくれていたんだと感じます。

明治 25 年になり、黒井村立黒井尋常小学校となりました。この明治時代の学校の旗は、「晒木綿に墨黒々と」と表されるように、白い布に黒い文字で「黒井尋常高等小学校」とかかれていました。

大正時代に入り、この時機に旗を新しくしています。「黒井校、白地、黒文字」とされています。旗の大きな変更はありませんが、意味が記されています。「白は、心が美しく、行いにうしろ暗いところがないこと。汚れのない清らかな、いさぎよい、正しい「心」が育つように。」

昭和 8 年に黒井小学校の「校歌」、「校訓（学校前の植込みに石碑があります。）」、「校章」を制定しました。そして、昭和 45 年 3 月 23 日現在の校章旗がつけられました。カタカナの「ク」を 6 個組み合わせ「クロ」＝「黒」と読み、その中に「井」と「小」を入れて「黒井小」を図章化しました。「ク」のつながりと（連なった 6 つのク）組み合わせが「親和と協力」を象徴するものとしています。

